

学校評価アンケート「学校への要望や改善点などのアイデア」

◆二学期制◆

- 本校が2学期制をとってから13年が経過しています。
 - ①全国の小学校の状況：3学期制 77.7% ↓ 2学期制 22.3% ↑ (令和4年度)
:3学期制 80.6% 2学期制 19.4% (平成30年度)
 - ②2学期制のよさ
 - ・始業式、終業式等の学校行事の時数が削減され、授業時間が確保できる。
 - ・通知表の回数が2回に減ることで時間にゆとりが生じ、教職員・児童の双方に時間的・精神的な余裕ができる。そのため、学習活動が充実し、教職員が児童に向き合う時間も増える。教職員の働き方改革にもつながっている。
 - ・前期の通知表は、夏休みの間にある程度準備ができるため、9月の学習活動に詰め込み感がない。3学期制の7月、12月、3月は、成績をつけるための学習、いわゆるまとめのテストが多くなり、児童にはとても負担が増える期間となる。
 - ・2学期制の7月、12月は成績つけの慌ただしさ、窮屈さがない。本校では、7月を命・平和の指導に、また12月は人権・いじめの指導に重点を置き、指導の充実が図れる。
 - ・2学期制は、長期休業中に入る区切りがはっきりせず、メリハリが出ないというご意見があります。夏休み前集会、夏休み明け集会（冬休みも同様）を行い、自己の振り返り、目標づくり、生活指導を行っています。
- 市内の他の小学校（3学期制）でも、通知表の簡略化（所見省略）や2学期制のように、2回（10月、3）にする学校も出てきています。本校では、年2回の通知表に加えて、標準学力テストの結果（2年生以上）や全国学力・県学力調査（5，6年生）の個票も配布し、お子さんの学力の把握に役立てていただいています。

◆授業公開、行事の期日◆

- 授業公開による参観の機会確保については、引き続き回数確保していきます。また、6月のひあしっ子の心を見つめる教育週間では、1週間の学校開放期間を設け、地域、家庭に学習の様子をいつでも参観していただくようにしています。期間外でも、学校に用事でこられた際には、教室に立ち寄られて授業の様子をご参観ください。
- マラソン大会は、体育科のカリキュラムの関係で、12月末の実施を継続しています。温暖化の関係もあり、カリキュラムを移動させて他の月に開催することは難しいです。
6年生修学旅行の時期ですが、10月末の小体連実施後に、修学旅行を位置づけています。
11月下旬の実施で、感染症等の心配をされるかもしれませんが、過去2年間、病気による不参加や旅行の途中で病気になり、帰宅した児童はおりません。ご家庭における事前の健康管理が徹底されたおかげだと思えます。

◆学校給食◆

- 給食の指導法について、ご意見がありました。給食指導については、近年たくさんのご要望があり、その御意見に真摯に耳を傾けながら、対応しております。
また、個人差に応じて食前に量（ごはん、パン、おかず）を自由に減らせており、それでも食べきれない場合には、食缶に戻して残すようにして、決して完食の強要はしていません。給食配送に影響がないように、13時30分までに食缶返却完了としており、それまでに給食は終了します。昼休みに延々と給食を食べ続けることはありません。食について配慮が必要なお子さんについては、ご家庭から連絡をいただき、個に応じた対応をしております。
物価高騰の折、限られた予算の中で、成長に必要な栄養価を確保し、おいしく食べられるような工夫をされている学校給食です。子どもたちには、食べられること、給食に関わる方々への感謝の気持ちも指導しています。

◆生徒指導、児童の問題行動・トラブル対応◆

- 小学生の時期は、規範意識や道徳性、社会性、対人関係能力、基本的な生活習慣等を育み、定着していく時期です。望ましい人格を形成していくために、たくさんの級友と、学び、遊び、学校生活をおくっているのです。

当然、未熟な子ども達ですから、社会的にいけない行為やお友達とのトラブルも体験するはずです。その体験を経験にかえ、学びへと導いていくことが生徒指導の基本と捉えています。トラブルがあったら、その児童に責任を追及し、懲罰を与えるような警察的行為は、教育の場にはそぐわず、児童には問題行為に向き合わせ、これからよき自分に向かわせる指導をしていきます。その際には、保護者の協力が必要になります。関係する児童がいた場合にも、我が子と同じ気持ちで、温かい心で見守ってほしいと思います。

- 個人面談は、4月下旬の家庭訪問の代替として全家庭対象として実施、夏休み及び1月の希望制の面談の計3回実施しています。加えて、学級懇談会（5月、7月、10月、2月）も4回実施し、個別にまた学級全体としての情報共有、課題解決に取り組めます。面談の場だけでなく、日頃から学級担任と保護者の間で、コミュニケーションが取れるような関係づくりに努めていきたいと思っています。

◆育友会（PTA）活動◆

- 今年度から、育友会組織の改編、活動スタイルの改善を「持続可能なPTA」をコンセプトに行ってきました。保護者の皆様は、年に1回の活動参加には、協力いただけただけでしょうか。案内の仕方も要領を得ていなかったのか、本年度は役員さん中心の活動になってしまったようです。多くの保護者の皆様が、保護者間のつながりが希薄になったと意見が出されています。

今年度末の常任理事会において年間の反省を行い、持続可能で会員同士の親睦が深まる組織運営を検討していきます。

また、交通安全母の会の名称や運営の仕方についても、検討要請があります。年間の反省時に、改善案を検討します。

◆その他◆

- 冬休みの宿題の量が多かった。タブレットはWiFi環境がないとできない。
 - ・発達段階や児童の実態等も踏まえて、適切な量の宿題を考えていきます。
- 社会体育の活動を、もっと応援してほしい。
 - ・学校外の社会体育、民間クラブ、お稽古事、塾等、関わることでできませんが応援しています。
- 金曜日の水泳指導は、避けてほしい。帰りの荷物が多くなりすぎる。
 - ・プール使用の時間割調整を考えますが、悪天候で時数が不足する時は金曜日実施もあり得ます。
- 冬場、薄暗い中の登校は危険である。
 - ・朝の登校は、7時30分から7時45分に学校に着くことを奨励し、保護者にもお願いしています。あまり早い登校は、冬場は薄暗くて危険です。
- 感染症による学級閉鎖の基準は、在籍児童のおよそ3割以上の罹患、そして罹患者の登校状況等から、更に拡大の恐れが高いと判断した場合、学校医、市教委と協議の上、決定します。

たくさんのご意見を頂戴しました。諫小教育の充実に向けて、しっかり改善に生かしていけたらと思います。私たち諫小の教職員の願いは、ひあしっ子の豊かな成長です。教科等で育む資質・能力（知識理解、思考力判断力表現力、学びに向かう力）だけでなく、ひあしーが持つ6つの能力（育たい人間性）の育成に全力を上げて取り組めます。これは、保護者のご理解、ご支援があってこそ、効果を上げる取組です。学校の教職員（担任）とご家庭（保護者）は、上下の関係はなく、対等なパートナーだと考えています。気軽に話ができる関係づくりを進めていきたいと考えます。